

# ステロイド中止後に長期リバウンドを経験した成人アトピー・喘息・鼻炎の経過（37 歳）

症例 ID：001-30-AR | 記録日：2015 年 10 月 18 日

## 1. 診断・治療前経過

成人するまで大きな病気はほとんどありませんでしたが、就職して 4～5 年頃から春に咳が出るようになり、ひどい時には話すことも難しくなりました。耳鼻咽喉科でステロイド内服薬を処方され、その後、腕と顔に赤み、湿疹、ガサガサ感が出ました。

皮膚科では当初アトピーではないとされましたが、通院中にステロイドが処方されました。一時的に良くなったように見えてもさらに悪化することを繰り返し、次第に全身に広がりました。最初に耳鼻科でステロイドを処方されてから半年近く経った頃、一切のステロイドをやめる決心をしました。そこから 7 年以上、リバウンドに苦しみ、複数の病院や治療を試した後、松本医院を受診されました。

## 2. ステロイド使用歴

| 項目    | 内容                                                     |
|-------|--------------------------------------------------------|
| 使用内容  | 咳に対してステロイド内服薬を使用し、その後皮膚症状に対してステロイド外用薬と内服薬を使用した経過があります。 |
| 製品名   | 不明。プロトピックを提案された経過があります。                                |
| 強度    | 不明。                                                    |
| 使用期間  | 約半年。                                                   |
| 中止時期  | 最初の処方から半年近く経った頃に一切中止。                                  |
| 来院前／後 | 来院前に使用歴があります。来院後のステロイド使用は不明です。                         |

## 3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

| 時期         | 治療開始から  | 経過                                                                                    |
|------------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 就職後 4～5 年頃 | 発症前後    | 春に咳が出るようになり、耳鼻咽喉科でステロイド内服薬を使用しました。                                                    |
| その後        | 皮膚症状出現  | 腕と顔に赤み、湿疹、ガサガサ感が出て、皮膚科でステロイド外用薬を処方されました。症状は一時的に落ち着いても悪化を繰り返し、全身に広がりました。               |
| ステロイド中止後   | 強いリバウンド | 顔や体中から浸出液が出て真っ赤に腫れる日、皮膚がひび割れ乾燥して剥がれる日、どす黒く硬くなる日がありました。かゆみと微熱で常にぼんやりし、仕事や日常生活に支障が出ました。 |
| 翌春～転勤後     | 一時軽減    | 東京への転勤後、環境変化もあり一時的に体調が良くなりましたが、症状が完全に落ち着いたわけではなく、その後も数か月から半年単位で悪化と軽快を繰り返しました。         |
| 休職期間       | 療養期     | 深夜残業や徹夜作業が続いた時期に悪化し、休職して実家で療養しました。漢方医の元へ通い、約 3 か月でほぼ元の白い皮膚に戻りました。                     |
| 復職後        | 再燃反復    | 大阪に転勤して復職後、残業や休日出勤が続くと悪化するパターンを繰り返しました。                                               |

|                      |              |                                                                              |
|----------------------|--------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 松本医院受診               | 治療開始         | 松本医院を見つけて受診し、漢方煎じ薬、漢方風呂、外用薬を開始しました。                                          |
| 開始後 2～3 週間           | 初期悪化と呼吸器症状軽減 | 皮膚の炎症が広範囲に広がり、かゆみが強くなりました。一方で、咳・痰・呼吸困難は消えていきました。                             |
| 開始後数か月               | 軽減期          | リバウンドが落ち着いた後、大きなリバウンドは出ていません。局所的に悪化することはありませんでしたが、掻いても出血しにくく、しばらくすると落ち着きました。 |
| 通院 3 年・脱ステロイド 10 年時点 | 経過時点         | 漢方薬をしばらく飲み忘れていても大丈夫な日々を送っていました。そけい部に色素沈着と皮膚炎が少し残り、必要時に外用薬を少し塗る程度でした。         |

#### 4. ピーク時期

ピークは、ステロイド中止後に顔や体中から浸出液が出て赤く腫れ、皮膚がひび割れて剥がれ落ち、どす黒く硬くなる日が続いた時期です。痒みで明け方まで眠れず、微熱とだるさで仕事・生活に支障が出ました。松本医院治療開始後も 2～3 週間で皮膚炎が広範囲に広がりましたが、数か月で落ち着きました。

#### 5. 困りごと

- ・かゆみで眠れず、仕事や日常生活に大きな支障が出ました。
- ・浸出液、腫れ、皮膚の剥離、硬化など、日によって強い症状が出ました。
- ・長期のリバウンドにより、周囲の理解を得にくく精神的な負担がありました。
- ・複数の病院や治療を試し、治療方針への迷いが続きました。

#### 6. 経過のまとめ

松本医院で漢方煎じ薬を開始して 2～3 週間で皮膚炎は広範囲に広がりましたが、同じ頃から咳、痰、呼吸困難は消えていきました。皮膚のリバウンドも数か月で落ち着き、その後は局所的な悪化はあっても大きなリバウンドは出ていません。

通院開始から 3 年、脱ステロイドから 10 年時点では、漢方薬をしばらく飲み忘れていても大丈夫な日々を送り、そけい部に色素沈着と皮膚炎が少し残る程度まで生活が安定しました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。  
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。